



絆プロジェクトⅡ

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

学習環境

教育課程

体力向上

外国語

キャリア

平成 29 年 12 月 13 日発行
No.17 文責 小林

キャリア

生産者として「本物」にふれてほしい!



「今は、とても便利な世の中になり、お腹がすけば温めるだけですぐに食事ができるインスタント食品があるし、調理をするにしてもカット野菜や冷凍食品など、大幅に手間を省くことができます。しかし、そのおかげで、材料がどんな色や形をしているのか?どんな手触りなのか?どんなにおいがるのか?そんなことを五感で感じることのできる機会が奪われてしまっています。生産者として、実物をしっかり知った上で食べ物を味わって欲しい。そんな機会になればいいなあ、とって協力させて頂いています。」と・・・

12月6日(水)、5年生が玉ねぎ栽培でお世話になっている中村農場の中村さんをお招きして「感謝の集い」を行いました。

中村さんには、玉ねぎ畑を貸して頂いているだけでなく、栽培の指導、畑の管理、収穫のサポート等、何から何までお世話になり、本当に感謝しています。自分自身に置き換えてみると、小学生が団体で来て、大切な仕事を貸し、しかも学習になるように調節しながら管理を行うなんて、作業的にも時間的にも大きな負担になるはずですが、中村さんは、この10年間、毎回子どもたちのために誠心誠意ご指導くださり、たくさんの知識と思い出を残してくださっています。何故中村さんが、そこまで子どもたちのためにご尽力くださるのか?今回、中村さんが、その心中を少しだけ語ってくださいました。



感謝の集いでは、5年生が一生懸命考えた出し物や歌、収穫した玉ねぎで作ったカレー

ライスでおもてなしをしたそうです。中村さんからは、「感動しました。ありがとうございます。」との言葉とステキな笑顔をいただき、子どもたちも大満足の様子でした。

中村さんのように、本校にご協力して頂いている方々は、必ず子どもたちにメッセージを残してください。ただ依頼されたからではなく、子どもたちに対して熱い思いや願いをもって授業をしてくださっていることに、豊成地区の教育に対する意識の高さ、地域力を感じます。本当にありがたいですね・・・。